

滋賀県立大学SDGs重点取組計画 概要

これまでの取組を継続するとともに、社会課題に対応する4つの重点項目を設定し、4つの視点から全学的な取組を推進し、自治体や産業界等と連携して、本学らしい研究、教育、実践でSDGsの達成に貢献する。

重点項目

地球温暖化対応、CO₂削減

- CO₂ネットゼロキャンパスの推進
- 施設の高効率化改修、再生可能エネルギーの利用
- シーズ技術の社会実装化の研究
- 新技術研究《蓄電池、太陽光パネル、バイオマス、BDF、バイオ炭など》

琵琶湖流域の保全再生

- 琵琶湖の生態系保全、内湖再生、里山再生、川辺林維持管理の研究
- 琵琶湖流域の自然環境・生活文化に関する研究
- 琵琶湖を取り巻く持続可能な社会づくり(マザーレークゴールズ(MLGs))

産学連携による社会実装へ展開

健康増進

- 医療、食材と栄養に関する研究
- 食生活、生活習慣、栄養改善や食育に関する研究
- 学生による地域の健康生活支援活動
- 地域の健康医療福祉の専門人材の育成

地域課題解決

- 学生(近江楽座)による地域課題解決
- 地域で活躍する人材育成
- 持続可能なまちづくりに向けた価値創造教育《ソーシャル・アントレプレナー、コミュニティ・ネットワーク》

取組の視点

地域実践

- ・各学部の地域実習(フィールドワーク)
- ・近江楽座の地域課題への取組
- ・地域交流看護実践研究センター
- ・地域共生センター

新しい技術・産業の創出

- ・イノベーション創出(全学部・大学院・その他施設)
- ・地域ひと・モノ・未来情報研究センター(スマート農業・看護・観光・ファクトリー)
- ・産学連携センター

地域・産学連携

- ・市町・企業等との包括連携協定
- ・キャンパスSDGsの取組、出前講座、連続講座
- ・カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション

教育・人材育成

- ・「近江楽士」(ソーシャル・アントレプレナー、コミュニティ・ネットワークの育成)
- ・「ICT実践学座「e-PICT」(院生・社会人)
- ・「近江環人地域再生学座」(院生・社会人)